

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(耐震評価:機械その他関係)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/8/17	補足-600-40-32	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	17, 18	遠隔手動弁操作設備の加振試験結果について、加振台の加振試験時最大応答加速度と機能確認済加速度が相違している理由を説明すること。	加振試験時の加振台の最大加速度を「機能確認済加速度」とし、これに対して各機器上で得た最大応答加速度を「加振台加振試験時最大応答加速度」として併記しておりましたが、機能維持評価用加速度との比較の観点から、後者は不要であるため、記載を削除しました。	補足-600-40-32(O2-補-E-19-0600-40-32_改1) 20, 21	今回回答	
2	2021/8/17	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	9	復水貯蔵タンクについて、解析モデルの作成方法及び諸元の詳細を説明すること。	復水貯蔵タンク基礎の地震応答計算書にて評価している復水貯蔵タンクの解析モデルについて、モデル化の考え方及びモデル諸元に関する説明を追記しました。	VI-2-5-6-2-2 復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書 10, 11	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:機械その他関係)

No.	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	VI-2-9-4-6-1-3	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書	2~5	表2-1から表2-4のうち、主体構造の記載について、遠隔手動弁操作設備の構成部品を文章で説明する記載に修正しました。	2021/10/8	
2	VI-2-9-4-6-1-3	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書	11	代表になる支持構造物が、遠隔手動弁操作設備(その3)に含まれることを、文中に明記しました。	2021/10/8	
3	VI-2-9-4-6-1-3	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書	24, 29	加振試験時の加振台の最大加速度を機能確認済加速度としている「補足-600-40-32 遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書」に整合をとるよう、機能確認済加速度の記載を修正しました。	2021/10/8	
4	補足-600-40-32	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	1	資料作成の目的と関連する添付書類について、「1. はじめに」において明確化しました。	2021/10/8	
5	補足-600-40-32	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	5, 6	図2-8及び2-9のタイトルを、図2-6及び2-7と整合するように修正しました。	2021/10/8	
6	補足-600-40-32	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	6, 7他	「最大積載量」や「重量」の記載について、単位(t又はkg)に合わせて「質量」に記載を修正しました。	2021/10/8	
7	補足-600-40-32	遠隔手動弁操作設備の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	10	振動特性把握試験について、周波数を5Hzから100Hzまで上昇させる試験と、100Hzから5Hzまで下降させる試験を実施し、試験結果の傾向に特段の差異が見られなかったため、上昇させる試験の結果を記載している旨を追記しました。	2021/10/8	
8	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	2	表2-1 構造計画において、「底板」という記載表現に統一しました。	2021/10/8	
9	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	2	表2-1 構造計画において、胴の板厚が高さによって違うことを明記しました。	2021/10/8	
10	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	12	図5-1 概要図は模式的なものであり、外形及びボルト本数が実機とは異なることを注記しました。	2021/10/8	
11	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	12	板厚毎に「評価する」という表現に修正しました。	2021/10/8	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:機械その他関係)

No.	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
12	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	19	5.5 応力の計算方法の冒頭部分に、計算書中に算出式を記載する場合と、添付書類「VI-2-1-13-3 平底たて置円筒形容器の耐震性についての計算書作成の基本方針」の算出式を呼び込む場合の違いが分かるように追記しました。	2021/10/8	
13	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	19	5.5.3 液面振動の計算方法において、一次自由振動のみを考慮していることの表現について修正しました。	2021/10/8	
14	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	24	6.1 重大事故等対処設備としての評価結果において、裕度最小となる板厚を代表として記載している旨を明記しました	2021/10/8	
15	VI-2-5-6-2-2	復水貯蔵タンクの耐震性についての計算書	27	液面振動の評価結果として、屋根に接しないことを明記しました。	2021/10/8	
16	補足-600-40-30	容器のスロッシングによる影響評価について	全般	図3のスロッシングに対する評価フローで整理した評価内容を踏まえ、評価内容と資料構成の見直しを行いました。	2021/10/8	
17	補足-600-40-30	容器のスロッシングによる影響評価について	5	参考7の波高計算において、評価結果を整理した表に液位から屋根までの高さを追記し、波高計算の評価結果を明確にしました。 また、参考資料7の波高計算を本文に記載することしました。	2021/10/8	